

							
1区 (3.6 [※] 区)	2区 (5.2 [※] 区)	3区 (4.8 [※] 区)	4区 (3.3 [※] 区)	5区 (3.0 [※] 区)	6区 (4.8 [※] 区)	7区 (7.8 [※] 区)	8区 (5.3 [※] 区)
ふるや たいすけ 古谷 泰佑	よしの しょうご 吉野 将悟	ますだ ようすけ 増田 陽介	さかもと みき 坂本 美紀	えはら なほ 江原 奈穂	やました しゅん 山下 駿	ふくだ まさふみ 福田 匡史	かわち よしろう 河地 芳郎
12分21秒 区間5位	16分17秒 区間1位 新記録	16分27秒 区間3位	13分58秒 区間5位	11分24秒 区間2位	17分13秒 区間4位	27分34秒 区間5位	18分42秒 区間3位

40回目の上益城路へ挑戦

12月20日、第40回上益城郡町対抗駅伝大会が開催され、5町から6チームが出場しました。開会式では、河地芳郎選手が「町の名誉にかけ一生懸命最後まで走りぬくことを誓います」と力強く選手宣誓。御船町役場前スタート・益城町陸上競技場ゴールの37.8[※]のコースに8人が挑みました。

御船町は序盤から上位でレースを進めるも、2年連続の4位。大会は、甲佐町が8年ぶり2回目の優勝を果たしました。山下監督は、「故障者が出て、非常に厳しいレースだったが、選手は精一杯力を出してくれた。今後、町全体で陸上競技に対する底上げを図る必要があると感じました」と話しました。

大会成績

1位	甲佐町	2時間11分19秒
2位	嘉島町	2時間13分11秒
3位	益城町	2時間13分30秒
4位	御船町	2時間13分56秒
5位	山都町A	2時間15分41秒
6位	山都町B	2時間22分14秒

御船町出場選手

監督	山下 直樹	(辺田見・43歳)
1区	古谷 泰佑	(小坂・御船中2年)
2区	吉野 将悟	(御船・29歳)
3区	増田 陽介	(木倉・高校1年)
4区	坂本 美紀	(陣・高校1年)
5区	江原 奈穂	(豊秋・御船中2年)
6区	山下 駿	(辺田見・御船中3年)
7区	福田 匡史	(ふるさと選手・22歳)
8区	河地 芳郎	(木倉・49歳)
補員	林 佳穂	(滝川・御船中1年)
	辻崎 理倫	(高木・御船中2年)
	松久保康平	(木倉・御船中2年)
	大平 泰輝	(陣・御船中3年)
	増田 晃大	(木倉・高校3年)
	山下 直樹	(辺田見・43歳)
	倉内雅比古	(陣・52歳)



上益城路から都大路へ

町対抗駅伝と同日。九州学院高校3年の高田凛太郎選手(高木)が、第66回全国高等学校駅伝競走大会に出場しました。「前は消極的な走りで流れを切ってしまったので、借りを返そうと1年間頑張ってきた」と話す高田選手は、2年連続で2区(3[※]区)に出場。区間賞と3秒差の8分18秒で区間2位でタスキをわたすと、九州学院高校は2位でゴール。「去年の借りを返せて、チーム全国2位になれてよかった」と笑顔で話しました。

次の目標は箱根駅伝と話す高田選手

男性料理教室で料理の腕をみがく

12月1日、町保健センターで第7回男性料理教室が開催され、17人が受講しました。年9回開催される本教室は、家庭で簡単にできる料理を調理するほか、調理や食などに関するミニ講話が行われています。第7回目は歯周病と生活習慣病に関する講話が行われた後、「白菜とほうれん草のみそだれ」や「きんとん」などを調理しました。受講者は「みんなで協力しながら調理するのは楽しい」「家で料理を作ったら好評だった」と話しながら、笑顔で食事を楽しみました。



御船町食生活改善推進員に指導を受ける受講者

受け継がれる伝統行事

12月6日、滝尾地区玉虫で節頭まわしが行われました。五穀豊穡に感謝し、大杯に注がれた一升三合三勺(約2.4^{リットル})の酒を飲み干す伝統行事。江戸時代に神田で収穫した米を奉納後、豊作に感謝して酒を造ったことが始まりと伝えられています。両親ともに健在の男女が大杯に酒を注ぎ、下組、中組、上組の男性たちが年輩者から順番に大杯の酒を回し飲みします。各組最後の一人が飲み干し、大杯を頭にかざすと、豪快な飲みっぷりに盛んな拍手が送られました。



各組最後の一人が大杯を頭にかざすと拍手が送られた

木倉小でもちつき

木倉小学校(大脇為久校長・121人)で12月6日、もちつきが行われました。保護者や地域住民などが協力して行うもちつきは、30年以上続く行事で、今年は約200人が参加しました。5年生が田植え・収穫したもち米をついた児童たちは、できたてのもちを食べ美味しさに笑顔がこぼれていました。もちつき終了後、同じもち米で作った赤飯を、6年生が地区の民生委員と一緒に、一人暮らしをしている75歳以上の地域住民へ手紙を添えて届けました。



気合を入れてもちをつく児童たち

年末警戒中異常なし！

12月28日から30日までの3日間、町消防団(内村光宏団長、417人)の年末警戒が行われました。警戒は、各班ごとに消防詰所などで泊まり込みで行われ、団員たちは消防積載車で火災予防を呼びかけました。

消防活動車を配備

日本消防協会より防災活動車が交付され、12月に配備されました。今後、防火・防災啓発活動および災害時に活用されます。



泊まり込みで警戒を行う団員たちを激励する町長たち